

NEWS RELEASE

台湾最大の共通ポイントサービス「HAPPY GO」会員に向けて 国内初となるポイント優待型越境 EC モールの提供を開始

株式会社デジタルガレージ（東証一部 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループCEO：林 郁、以下：DG）と鼎鼎聯合行銷股份有限公司（本社：台湾新北市、President：Jin-Lin Liang、以下：DDIM）は、DDIMが台湾で展開する共通ポイントサービス「HAPPY GO」の会員向けに、ポイント優待型越境ECモール「HAPPY GO 日本線上購（Point Online Mall）」（以下：HAPPY GOモール）を共同開発し、2017年1月19日より提供を開始しました。



「HAPPY GO」は、台湾の人口約2,337万人^{*1}の半数を超える約1,400万人の会員が登録し、大手百貨店やコンビニエンスストア等といった約16,000以上の加盟店を有する台湾最大の共通ポイントサービスです。DGとDDIMは、訪日時に店舗で購入したHAPPY GO会員にポイントを付与するインバウンド施策を2015年より展開しており、今回、台湾から日本のECショップでの購入に対してポイントが付与される、ポイント優待型越境ECモールとしてHAPPY GOモールを開始しました。提供開始時には日本国内の大手ECショップや宿泊予約サイト等9サイトを掲載し、初年度の取扱額は約8億円を見込んでいます。

HAPPY GOモールでは、出店する日本のECショップや宿泊予約サイトでの購入や成約金額に応じて、ポイントを付与することで越境ECの利用を促進します。また、台湾の身分証IDに紐づいた会員を対象としたHAPPY GOモールは高い認知度と安全性があるため、出店する日本のEC事業者は越境ECに参入するリスクの軽減と、モール上での高い販促効果が期待できます。DGはHAPPY GOモールを通してEC事業者の越境EC市場への参入を積極的に支援します。

ここ数年で急増する訪日外国人の中でも約367万人で第3位となる台湾からの訪日旅行者^{*2}の消費行動は、実店舗における購入に留まらず帰国後や旅行外の消費に及び、台湾から日本への越境EC市場も拡大傾向にあります^{*3}。こうした背景から、今後ますます高まると考えられるHAPPY GOユーザーのニーズに応えるべく、DGは日本国内の様々なシーンでHAPPY GOポイントが獲得できるサービスを拡大していく予定です。

今後もDGは、アジア各国の企業と積極的に連携を図り、海外展開や日本国内における集客を推進する様々なマーケティング施策を支援し、多角的な越境EC・インバウンド事業を展開していきます。

HAPPY GOモール：<http://www.happygoonlineshop.jp/>

NEWS RELEASE

- ※1 出典：外務省HP 台湾基礎データ
- ※2 出典：日本政府観光局（JNTO）2015年国別／目的別 訪日外客数
- ※3 出典：台湾産業情報研究所（MIC）

■サイトTOP



■サイト利用ガイド



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社デジタルガレージ マーケティングテクノロジーセグメント

担当： 安部・田中

TEL： 03-6367-1317／03-6371-1849

Mail： dgmt-pr@garage.co.jp